

福島県教育委員会重点事項
第7次福島県教育総合計画

南会津教育事務所重点事項
「南会津」がつむぐ南会津ならではの学校教育

下郷町基本方針
未来を担う子どもたちが地域に「誇り」と「希望」を持つことができる人材育成

保護者の願い
・ 友達と仲良く、
明るく元気に登校する子ども
・ 進んで学習する子ども

明るくやさしい子ども

教育目標

創造性と実践力に富んだ心豊かでたくましい子どもの育成
～あかるく さわやかに ひとみを見て たれにでも～

【重点事項】

一人一人を大切にされた教育活動の推進

- 明るくやさしい子ども（思いやりと自主性の育成）
- 進んで学習する子ども（主体的な学習態度の育成）
- 健康でがんばる子ども（体力向上と強い心 危機回避能力の育成）

進んで学習する子ども

【主体的な学習態度の育成】

- （個別最適化された学び）
- 1 指導の個別化及び学習の個性化の充実
 - (1) 各種テストから、個の能力の把握・分析・周知
 - (2) 個に応じた目標設定の明確化と振り返り
 - (3) ワークシート・PCドリル等の繰り返し活用
 - (4) 個に応じたスキルアップタイムの活用
 - 2 協働的な学びの充実
 - (1) ICTを効果的に活用し、主体的に学ぶ場の設定
 - (2) 教科等横断的な視点での教育計画作成
 - (3) 現職教育による学級力向上
 - (4) 旭田スタイルの共通実践
 - (5) 読み聞かせ、学校司書の効果的な活用
 - 3 家庭学習の充実
 - (1) 家庭学習スタンダートの効果的な活用
 - (2) 家庭生活・学習カードを活用しての啓発
 - 4 教師の自己研さんの時間・児童と向き合う時間の確保
 - (1) 会議内容の精選・働き方推進委員会の活性化
 - (2) 校務支援システム・FCS等の円滑な活用

【特別支援教育の充実】

- （個に応じた支援の充実）
- 1 組織的な教育支援計画の構築と活用
 - (1) 個別の教育支援計画・個別の指導計画の活用
 - (2) SC、SSW及び関係機関との連携
 - 2 交流のための指導計画作成及び交流の場の設定
 - (1) 交流のための指導計画の作成
 - (2) 通常学級との交流の場の設定

今日的課題

- ・ 学びの変革＝授業の変革
- ・ GIGAスクール構想に基づくICT教育の充実
- ・ SDGsへの取組
- ・ 多様性の尊重（いじめを許さず多様性を重視）
- ・ 教科担任制の導入
- ・ 働き方改革の推進

目指す教師像

- ・ 児童の人格を尊重し、責任と情熱をもって教育活動に取り組むことのできる教師
- ・ 自ら研修に励み、心身ともに健康で、指導力の高い教師
- ・ 保護者、地域の方々に対して、信頼される教師
- ・ チーム旭田を意識し、組織全体として助け合う教師

健康でがんばる子ども

【体力向上と強い心 危機回避能力の育成】

- （粘り強く取り組むことのできる体力・健康な心身の育成）
- 1 めあてをもって運動に取り組む児童の育成
 - (1) 学習カード等の活用
 - (2) 運動身体づくりプログラムの自校化
 - (3) 児童期運動指針の効果的な活用
 - 2 運動に慣れ親しむ場の設定
 - (1) のびのびタイムの効果的な活用
 - (2) WEBなわとびコンテストへの参加
 - (3) 運動に慣れ親しむ場の設定（校庭・体育館の環境整備）
 - 3 基本的な生活習慣（保健領域から）の確立
 - (1) 自分手帳の組織的な活用
 - (2) 感染症予防の徹底
 - (3) 肥満・むし歯予防への継続した指導
 - 4 危機回避能力の育成
 - (1) 避難訓練、交通教室等の実施
 - (2) 日常生活での現場指導

【地域と共にある学校づくりの推進】

- （CS及び家庭と地域の教育力を生かした協力体制の推進）
- 1 地域の教育力を生かした指導の実践
 - (1) 校外学習での講師依頼
 - (2) CSと連携した学校経営
 - (3) 学校評価による家庭と連携した開かれた学校づくり
 - 2 積極的な情報発信
 - (1) 学校だより等の定期的な発行
 - (2) 学校ポータルサイトでの情報発信
 - 3 学校開放、各種行事への参加

【思いやりと自主性の育成】

- （自己指導能力を高める心の教育の充実）
- 1 道徳・特別活動の授業の充実
 - (1) 話し合い活動（計画委員会の育成）の活性化
 - (2) 学活と道徳を関連させた指導の充実
 - (3) 道徳・学活ノート等各種ワークシートの活用
 - 2 いじめ防止基本方針の共通理解と共通実践
 - (1) 学校生活アンケートの実施
 - (2) 定期的な教育相談の実施（児童・保護者）
 - (3) Q-Uテストの実施
 - 3 異年齢集団活動の充実
 - (1) 意図的・計画的な集会活動の位置付け
 - (2) 学級活動を基にした児童会活動の活性化
 - 4 体験活動の重視
 - (1) ボランティア活動、自然体験活動等の位置付け
 - (2) 地域人材の効果的な活用
 - 5 児童の発達を支える生徒指導の充実
 - (1) 基本的な生活態度の確立
 - (2) 現職（学活）と関連させた学級経営の充実
 - (3) あいさつの合い言葉の周知・徹底
 - 6 愛校心、郷土を愛する心の教育
 - (1) 創立150周年式典への積極的な参加
 - (2) 勤労奉仕作業、栽培活動の充実
 - (3) SDGsへの理解と自主的な実践